

技術士(農業部門) キャリア形成スキーム(例) (案)

資料4-3

この技術士キャリア形成スキームは、農業部門の技術士の生涯を通じたキャリアパスの観点から、農業部門の技術士の段階(ステージ)に応じた資質能力等と技術士資格の位置付けについて例示的に作成したものである。ただし、内容については、農業部門の技術士の中で多数を占める「農業土木分野」限定となっている。

項目	ステージ1	ステージ2	ステージ3
①技術士像	<ul style="list-style-type: none"> ・農業部門を専門技術として、基礎的な専門的知識と一定の実務経験及び技術者倫理を持って業務を遂行できる技術者 ・具体的には、農業関係プロジェクトの調査・計画・設計・施工監理に係る業務に関して、技術士の指導と監督の下、技術者としての倫理を持って、与えられた業務に関して自らの有する専門とする分野の学識・経験を動員して、現場条件や要求性能を分析し、課題を抽出して、その技術的対応策の検討に参画できる技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業部門を専門技術として、深い専門的知識と豊富な実務経験及び高い技術者倫理を有し、責任を持って業務を遂行できる技術者 ・具体的には、農業関係プロジェクトの調査・計画・設計・施工監理に係る専門とする特定の業務に関して、部下の技術士補や協力会社の技術者を指揮監督しながら、自ら、与えられた現地条件や要求性能に即して、業務の課題を抽出し、深い専門的知識と豊富な実務経験及び高い技術者倫理を持ってその技術的対応策を検討・立案し、その成果品を顧客に届ける責任を負う技術者 ・また、業務の遂行等を通じて技術士補を指導・育成する責務を負う。さらに当該技術部門の学術・技術の発展やその社会的責任の遂行(社会の発展に寄与する公平中立な技術情報の提供・広報・普及など)に貢献する意欲を持つ技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業部門を専門技術としつつ、それ以外の多分野にわたる幅広い見識と豊富な経験を有し、国際的にもPEとして通用する高い技術力とマネジメント能力及び技術者倫理を有し、責任を持って業務を監理できる技術者。 ・具体的には、農業関係プロジェクトの調査・計画・設計・施工監理の一連の業務に関して、部下の技術士を指揮監督して、プロジェクト全体を以下の観点(注)から総合的に監理・遂行し、高い技術力と技術者倫理に裏打ちされた業務の成果品を顧客に届ける最終的な責任を負う技術者。 <small>(注)プロジェクト監理の観点・・・品質管理・工程管理・安全管理・コスト管理・環境への影響管理・情報管理・リスク管理・社会的影響の管理など</small> ・また、業務の遂行等を通じて技術士を指導・育成する責務を負う。さらに、当該技術部門の学術・技術の発展やその社会的責任の遂行(社会の発展に寄与する公平中立な技術情報の提供・広報・普及など)に貢献する責務を負う。
②年齢の目安	20代中頃～(学部・大学院卒～)	30代中頃～(技術士補で10年程度の経験)	40代中頃～(技術士で10年程度の経験)
③職位等の具体例	○民間技術者: 技師、技師補等	○民間技術者: 課長、主任技師等	○民間技術者: 部長、技師長、上級管理技師等
④職位等における業務の性格	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士の指導の下で担当する業務を推進し、同僚技術者や協力会社の技術者とも共同して技術的検討ができる技術者 ・現場条件や要求性能に関して一定の分析や問題点の検証、対応策の検討ができる技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの判断で担当する業務を推進し、部下や協力会社の技術者を指導できる技術者 ・複雑な課題に対して、エンジニアリングジャッジ(技術的妥当性の総合判断)ができる技術者 ・担当する業務に関して、自らの判断で、顧客との調整や対外的な調整ができる技術者。 ・業務成果について、顧客はもとより必要に応じ対外的にも正しくかつ分かりやすくプレゼンテーションできる技術者 ・積極的に新技術などの情報収集に努め、また自ら創意工夫して技術の発展に貢献するとともに、積極的に技術情報等を情報発信しうる技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施過程及び成果に対して、全ての面(品質・工期・安全性・コスト・環境影響・情報リスクなど)で最終的な責任を負う技術者 ・プロジェクトを遂行する上で、顧客との調整や対外的な調整で最終的な責任を負う技術者 ・技術者の指導・育成、科学技術の発展、技術の社会的責任の遂行に幅広く貢献できる技術者

⑤資格	技術士補(農業部門)	技術士(農業部門)	総合技術士【仮称】
⑥資格に求められる知識・能力	農業部門の技術士として必要な科学技術全般にわたる基礎的学識や技術者倫理	農業部門の技術士として必要な農業部門についての専門的学識及び高等の専門的応用能力	農業を専門技術としつつ、総合技術監理部門の技術士として、幅広い見識と豊富な実務経験を踏まえて、専門技術以外の技術を含めた複合的な問題を解決するために必要な応用能力に加え、これらに関する安全性や経済性の向上等を図るために監督、管理する能力
⑦受験資格	年齢・学歴・業務経歴等による制限なし	技術士補となる資格を有し、一定の実務経験年数を有する者	農業技術士となる資格を有し、以下のいずれにも該当する者 (1)一定の実務経験年数を有すること (2)総合技術士になるために受講することが必要と認められたCPDを一定時間(過去5年間で250時間以上)受講すること
⑧受験に必要な実務経験年数	なし	7年以上	7年以上(うち2年以上は責任ある立場での実務経験)
⑨資格活用状況	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)
⑩他の資格との関係	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)